

ワーク・ライフ・バランスとは

仕事は、生活を支え、生きがいや喜びをもたらすものですが、同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしに欠かすことができないものであり、その充実があつてこそ、人生の生きがい、喜びは倍増します。

しかしながら、現実の社会には、安定した仕事に就けず、経済的に自立することができない、仕事に追われ、心身の疲労から健康を害しかねない、仕事と子育てや老親の介護との両立に悩むなど、仕事と生活の間で問題を抱える人が多く見られます。

これらが、働く人々の将来への不安や豊かさが実感できない大きな要因となっており、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまでつながっていると言えます。それを解決する取組が、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の実現です。



パートナーシップセミナー 「男性料理教室(全5回)」参加者募集

本市では、男女がお互いを理解し、協力しながら豊かな生活を送ることができる男女共同参画社会をめざしています。男性の皆さんの家庭生活への積極的な参加を目的に「パートナーシップセミナー」を開催します。ぜひご参加ください。



日 程 ①10月2日(金) ②10月15日(木) ③10月29日(木) ④11月12日(木) ⑤11月25日(水)

時 間 10:00~12:00 **場 所** ひまわり会館3階 グルメルーム

参 加 費 各回500円程度(材料費として当日集金)

定 員 各回20人(定員に達し次第締め切り)

申込方法 電話またはファクスでお申し込みください。

(必要事項:日程①~⑤のうち参加希望日、住所、氏名、年齢、電話番号)

※申し込みの際にいただいた個人情報 は目的以外の利用はしません。

申込締切日 8月21日(金)(必着)



申し込み・問い合わせ
人権・男女共同参画課 ☎22-3094 FAX22-4785

桃栗3年柿8年



40代半ばにして一念発起し、起業しました。これまで出会ったすべての方々に感謝する日々を過ごしています。思い返せば野球に打ち込んだ学生生活。中学卒業時に恩師から手渡された



横見町 荒木 大輔さん

高校卒業と同時に就職。さまざまな業務を経験し、素晴らしい上司や同僚に恵まれて、大きな不満もなく20年が過ぎました。地域のボランティア活動や家業の手伝いなどを経験していく中で、人の喜ぶ顔が直接見られる機会に触れて起業を思い立つことになりました。た。中学時代の恩師から手渡された一冊は、どのように立ち、考えるかの基礎を築いてくれました。そして、高校時代の詭弁は「自分は柿だ。これから実っていくんだ」と自分を勇気づける言葉に変わったのです。でも、まだまだ渋いようで軒先に吊るされております。次は、下大野町の田村俊一郎さんをお願いします。

「他のみんなは桃とか栗かもしれんけど、俺は柿なんかもしれん。もうちよつとが詰まった一冊でした。当時は何の役に立つのか分からないまま、何度も読み返した記憶があります。時は少し過ぎ、高校2年の時、先生から「もう少し頑張れよ」との進言をいただいた際、当時の自分には耳が痛かったのでしょうか。もしれんけど、俺は柿なんかもしれん。もうちよつと